

2. 産 業

C0201-1 産業大分類別就業者数

本市の平成27年の常住地における就業者数は24,618人で、総人口に対する就業率は56.1%である。産業別就業人口の構成比は、第1次産業23.7%、第2次産業23.4%、第3次産業52.5%で、第3次産業の就業者数の割合が最も高くなっている。また、第1次産業の構成比が県平均(9.3%)に比べ上回っている。

平成7年から平成27年にかけての産業別就業人口の推移を見ると、第1次産業は2,143人、構成比で4.7%減少、第2次産業は2,383人、構成比で5.6%減少、第3次産業は996人、構成比で10.0%の増加となっている。

従業地における就業者数は24,291人で産業別就業人口の構成比は、第1次産業25.6%、第2次産業24.2%、第3次産業49.6%となっており、第3次産業の就業者数の割合が最も高くなっている。

表2-1-1 産業大分類別常住地・従業地別就業者数

■常住地

産 業 大 分 類	平成7年		平成12年		平成17年		平成22年		平成27年	
	就業者数	構成比	就業者数	構成比	就業者数	構成比	就業者数	構成比	就業者数	構成比
	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%
A. 農 業 , 林 業	7,964	28.4	7,161	25.7	6,742	25.3	6,142	24.3	5,823	23.7
B. 漁 業	2	0.0	3	0.0	0	0.0	1	0.0	0	0.0
第 1 次 産 業 合 計	7,966	28.4	7,164	25.7	6,742	25.3	6,143	24.3	5,823	23.7
C. 鉱 業	12	0.0	10	0.0	5	0.0	12	0.0	12	0.0
D. 建 設 業	3,162	11.3	3,034	10.9	2,555	9.6	2,080	8.2	2,050	8.3
E. 製 造 業	4,966	17.7	5,023	18.1	4,270	16.0	3,893	15.4	3,695	15.0
第 2 次 産 業 合 計	8,140	29.0	8,067	29.0	6,830	25.6	5,985	23.7	5,757	23.4
F. 電気・ガス・熱供給・水道業	85	0.3	103	0.4	64	0.2	72	0.3	80	0.3
G. 情報通信業	937	3.3	962	3.5	265	1.0	236	0.9	197	0.8
H. 運輸業, 郵便業					729	2.7	820	3.2	770	3.1
I. 卸売・小売業	4,401	15.7	4,588	16.5	3,834	14.4	3,387	13.4	3,347	13.6
J. 金融・保険業	397	1.4	361	1.3	322	1.2	330	1.3	310	1.3
K. 不動産業, 物品賃貸業	75	0.3	84	0.3	76	0.3	144	0.6	174	0.7
L. 学術研究, 専門・技術サービス業	5,367	19.1	5,796	20.8			361	1.4	398	1.6
M. 宿泊業, 飲食サービス業					1,063	4.0	1,106	4.4	1,073	4.4
N. 生活関連サービス業, 娯楽業							715	2.8	709	2.9
O. 教育, 学習支援業					829	3.1	790	3.1	739	3.0
P. 医療, 福祉					2,158	8.1	2,550	10.1	2,913	11.8
Q. 複合サービス事業					512	1.9	372	1.5	459	1.9
R. サービス業(他に分類されないもの)					2,436	9.1	1,053	4.2	1,060	4.3
S. 公務(他に分類されるものを除く)					671	2.4	685	2.5	669	2.5
第 3 次 産 業 合 計	11,933	42.5	12,579	45.2	12,957	48.6	12,607	49.9	12,929	52.5
T. 分類不能	15	0.1	17	0.1	158	0.6	521	2.1	109	0.4
合 計	28,054	100.0	27,827	100.0	26,687	100.0	25,256	100.0	24,618	100.0

資料: 国勢調査(各年10月1日)

表2-1-2 産業大分類別常住地・従業地別就業者数

■従業地

産業大分類	平成7年		平成12年		平成17年		平成22年		平成27年	
	就業者数	構成比	就業者数	構成比	就業者数	構成比	就業者数	構成比	就業者数	構成比
	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%
A. 農業，林業	8,060	29.1	7,326	26.9	6,992	26.4	6,436	25.7	6,228	25.6
B. 漁業	1	0.0	1	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
第1次産業合計	8,061	29.1	7,327	27.0	6,992	26.4	6,436	25.7	6,228	25.6
C. 鉱業	17	0.1	12	0.0	7	0.0	14	0.1	13	0.1
D. 建設業	2,968	10.7	2,609	9.6	2,203	8.3	1,787	7.1	1,715	7.1
E. 製造業	5,430	19.6	5,545	20.4	4,855	18.3	4,394	17.6	4,153	17.1
第2次産業合計	8,415	30.4	8,166	30.0	7,065	26.7	6,195	24.8	5,881	24.2
F. 電気・ガス・熱供給・水道業	83	0.3	101	0.4	55	0.2	46	0.2	36	0.1
G. 情報通信業	619	2.2	585	2.2	114	0.4	104	0.4	59	0.2
H. 運輸業					388	1.5	462	1.8	446	1.8
I. 卸売・小売業	4,199	15.2	4,422	16.3	4,056	15.3	3,584	14.3	3,404	14.0
J. 金融・保険業	422	1.5	375	1.4	353	1.3	344	1.4	282	1.2
K. 不動産業，物品賃貸業	73	0.3	78	0.3	74	0.3	128	0.5	146	0.6
L. 学術研究，専門・技術サービス業	5,057	18.3	5,352	19.7			319	1.3	322	1.3
M. 宿泊業，飲食サービス業					784	3.0	847	3.4	813	3.3
N. 生活関連サービス業，娯楽業							723	2.9	711	2.9
O. 教育，学習支援業					856	3.2	785	3.1	765	3.1
P. 医療，福祉					2,178	8.2	2,481	9.9	2,857	11.8
Q. 複合サービス事業					460	1.7	352	1.4	439	1.8
R. サービス業(他に分類されないもの)					2,217	8.4	1,032	4.1	1,053	4.3
S. 公務(他に分類されるものを除く)	712	2.6	751	2.8	725	2.7	663	2.7	711	2.9
第3次産業合計	11,165	40.4	11,664	42.9	12,260	46.3	11,870	47.4	12,044	49.6
T. 分類不能	18	0.1	28	0.1	162	0.6	515	2.1	138	0.6
合計	27,659	100.0	27,185	100.0	26,479	100.0	25,016	100.0	24,291	100.0

資料: 国勢調査(各年10月1日)

図2-1 産業大分類別常住地・従業地別就業者数

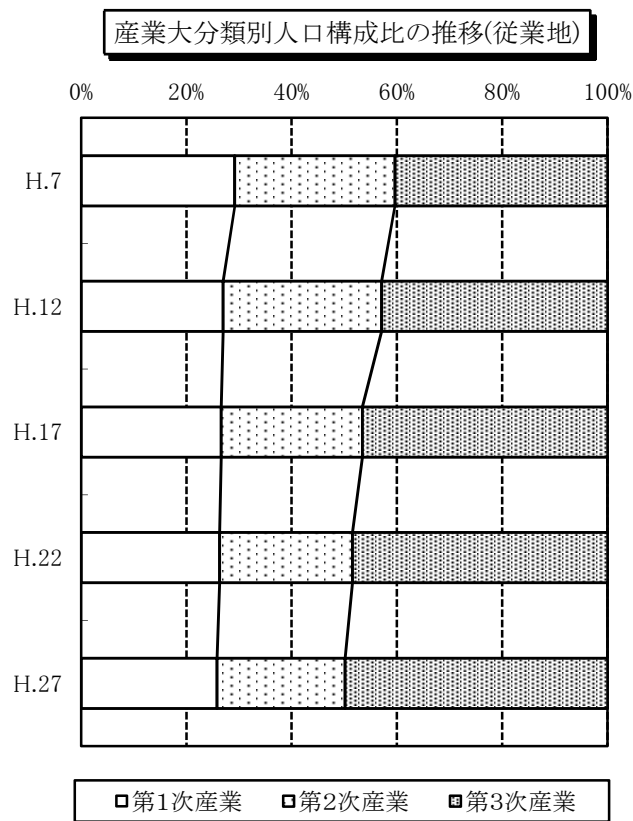
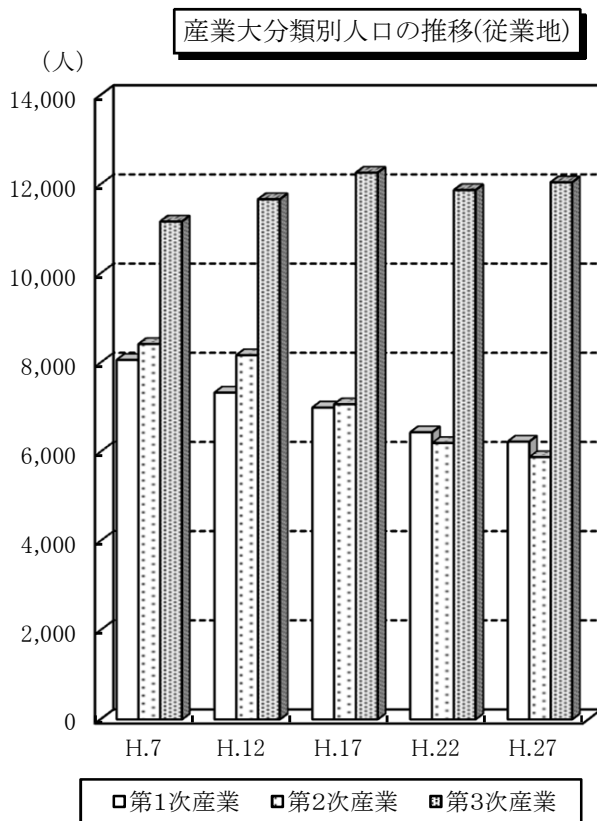
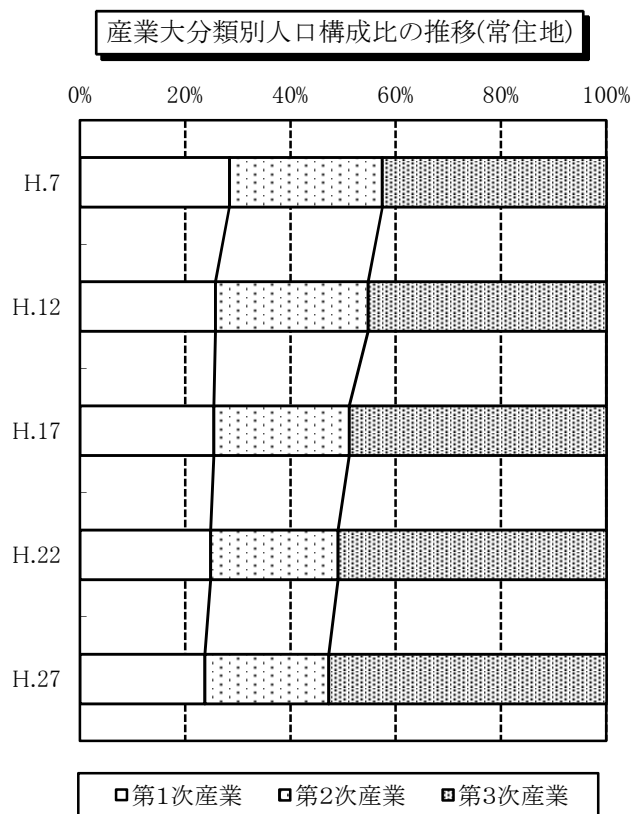
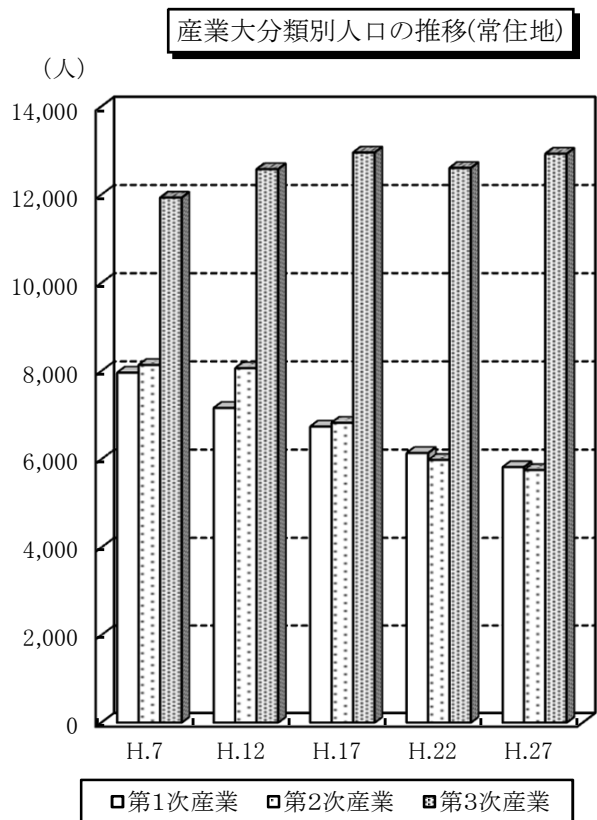


図2-2 平成27年産業大分類別人口構成比(常住地)

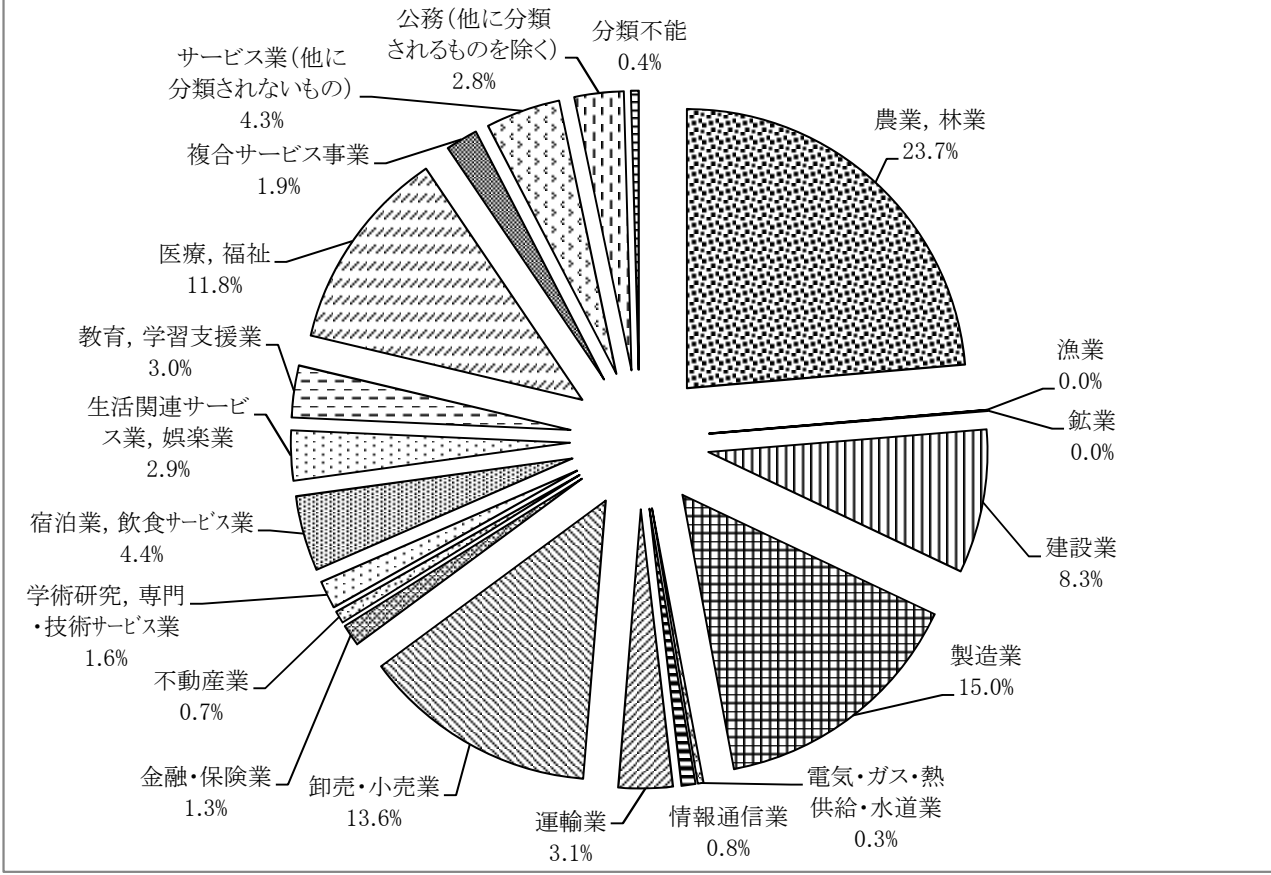
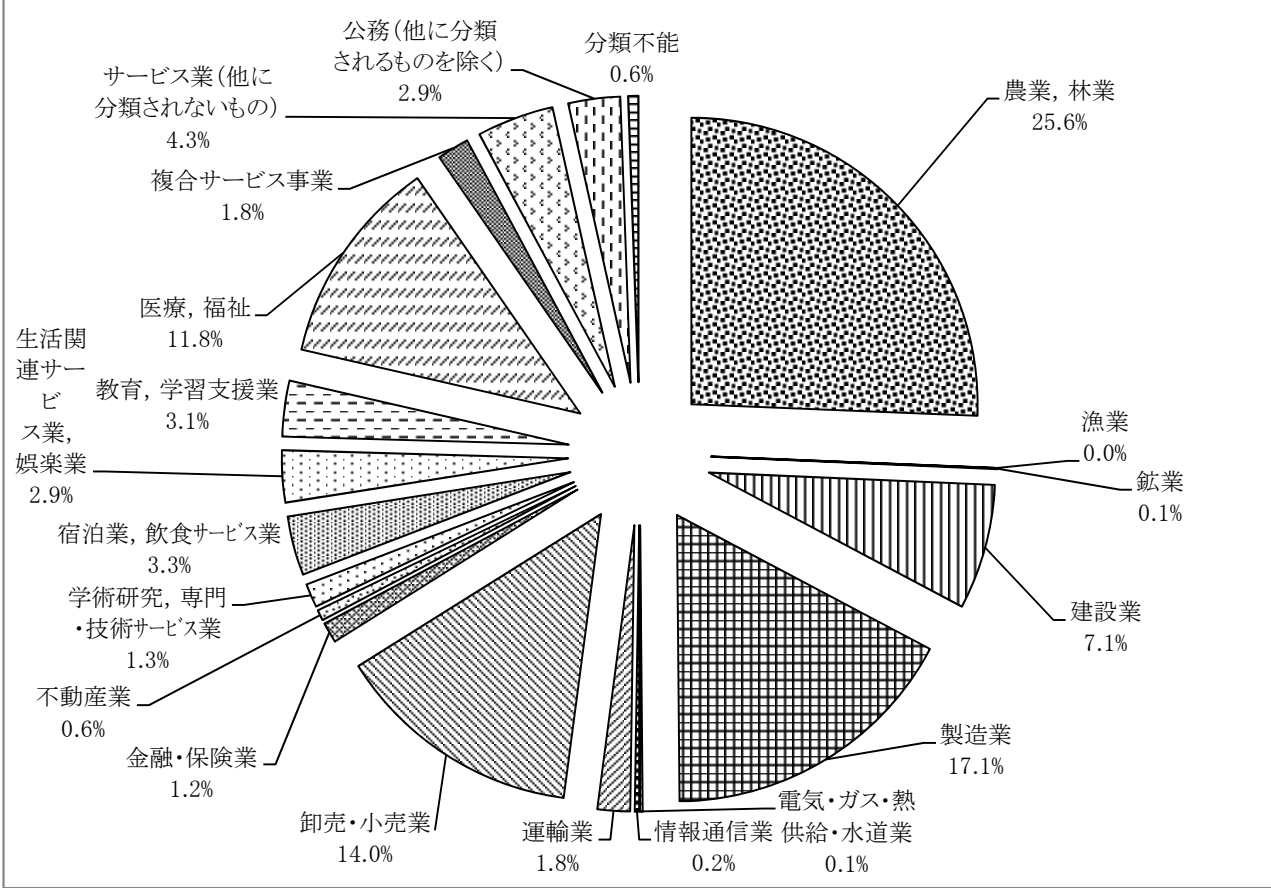


図2-3 平成27年産業大分類別人口構成比(従業地)



■ 産業大分類別人口の推計

最小二乗法による平成27年を基準年とした産業大分類別人口の推計結果は、第1次産業は今後も減少傾向で推移し、平成47年には2,318人から3,605人の幅で推計される。第2次産業も減少傾向で推移し、平成47年には1,545人から2,876人の幅で推計され、それに対し第3次産業については、今後も増加が予測され平成47年には13,438人から13,813人の幅で推計される。

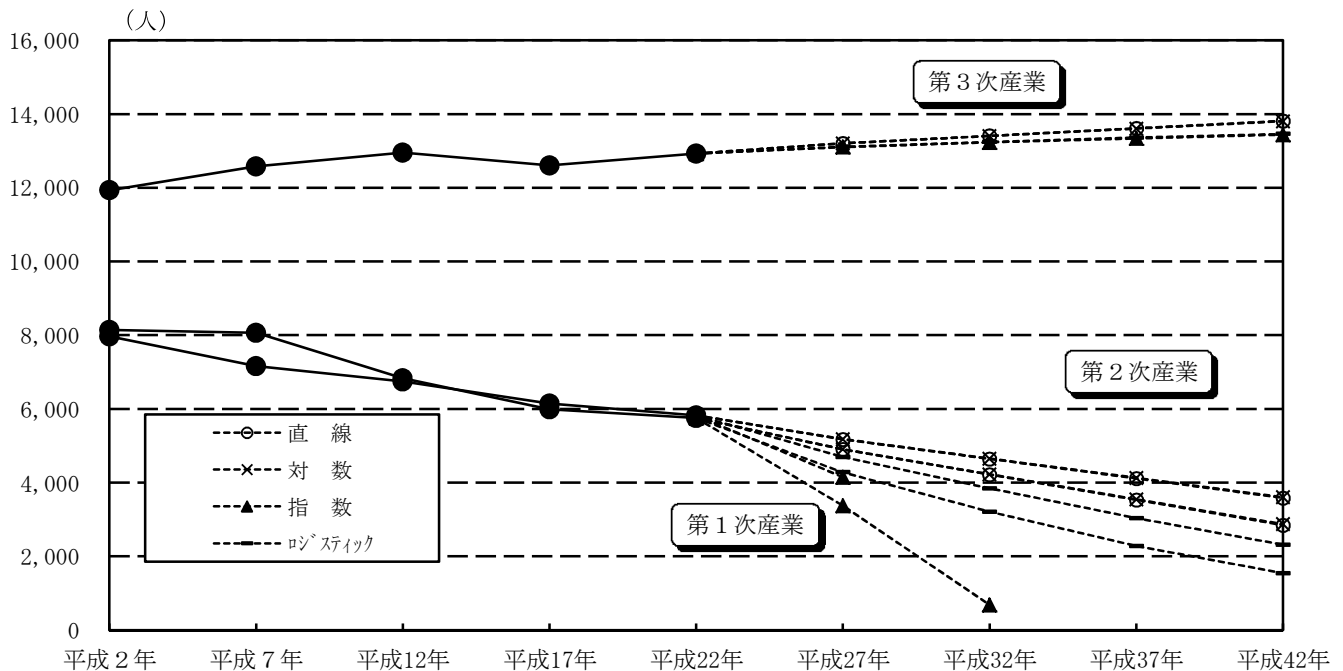
表2-2 産業大分類別人口の推計

(単位:人)

推計名	H.7	H.12	H.17	H.22	H.27	H.32	H.37	H.42	H.47	備考	
第1次産業	7,966	7,164	6,742	6,143	5,823						
直線						5,176	4,645	4,114	3,583	$y = -106.14 * X + 219578.3$	決定係数 0.9792
対数						5,180	4,654	4,129	3,605	$y = -212848.096911537 * \log x + 1625135.35583428$	決定係数 0.9795
指数						4,150	2,470	179	-	$y = 8762.6 - (1.51668634120411E-51) * 1.06407397385156^X$	決定係数 0.8987
ロジスティック						4,694	3,846	3,037	2,318	$y = 8762.6 / (1 + (5.76466068124627E-69) * \exp^{-0.0777146937158388 * X})$	決定係数 0.9239
第2次産業	8,140	8,067	6,830	5,985	5,757						
直線						4,901	4,217	3,532	2,847	$y = -136.96 * X + 281560.6$	決定係数 0.9318
対数						4,907	4,228	3,551	2,876	$y = -274606.189110498 * \log x + 2094894.6092141$	決定係数 0.9319
指数						3,376	679	-	-	$y = 8954 - 3.50265327509772E-66) * 1.08207773448056^X$	決定係数 0.9019
ロジスティック						4,282	3,213	2,280	1,545	$y = 8954 / (1 + (2.77570361474904E-87) * \exp^{-0.0987084746831047 * X})$	決定係数 0.9129
第3次産業	11,933	12,579	12,957	12,607	12,929						
直線						13,207	13,409	13,611	13,813	$y = 40.4 * X - 68401$	決定係数 0.5991
対数						13,206	13,406	13,606	13,806	$y = 81070.1462738387 * \log x + 603807.192481413$	決定係数 0.6001
指数						13,106	13,229	13,339	13,438	$y = 14252.7 - 1.10120999009361E+23) * 0.977479754126905^X$	決定係数 0.5873
ロジスティック						13,115	13,244	13,360	13,463	$y = 14252.7 / (1 + (5.9232954986399E+21) * \exp^{-0.0260287755509889 * X})$	決定係数 0.5896

注:・最小二乗法による推計値は、平成7年から平成27年の5年ごと20年間のデータを基に算出。
・備考欄には各々の式を示した。

図2-4 産業大分類別人口将来推計



C0201-2 職業大分類別就業者数

平成27年の常住地における職業大分類別人口の構成比は、農林漁業従事者が21.2%と最も高くなっており、次いで生産工程従事者14.5%、事務従事者が13.3%、専門的・技術的職業従事者が12.2%、サービス職業従事者10.2%の順となっている。

平成27年の従業地における職業大分類別人口の構成比は、農林漁業従事者が22.7%と最も高くなっており、次いで生産工程従事者15.7%、事務従事者が12.5%、専門的・技術的職業従事者12.2%の順となっている。

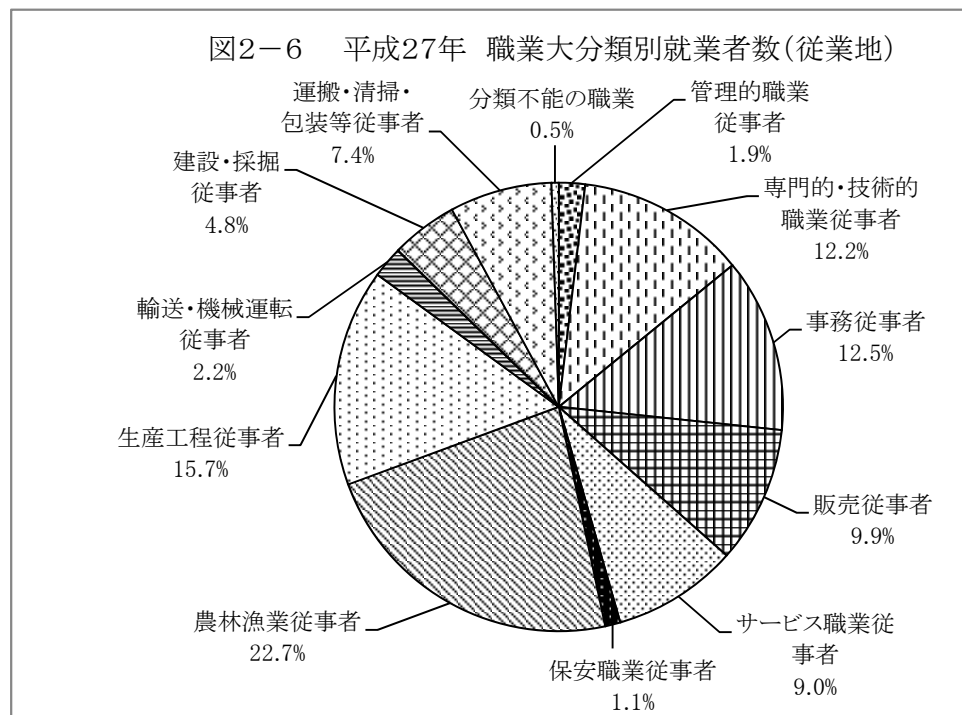
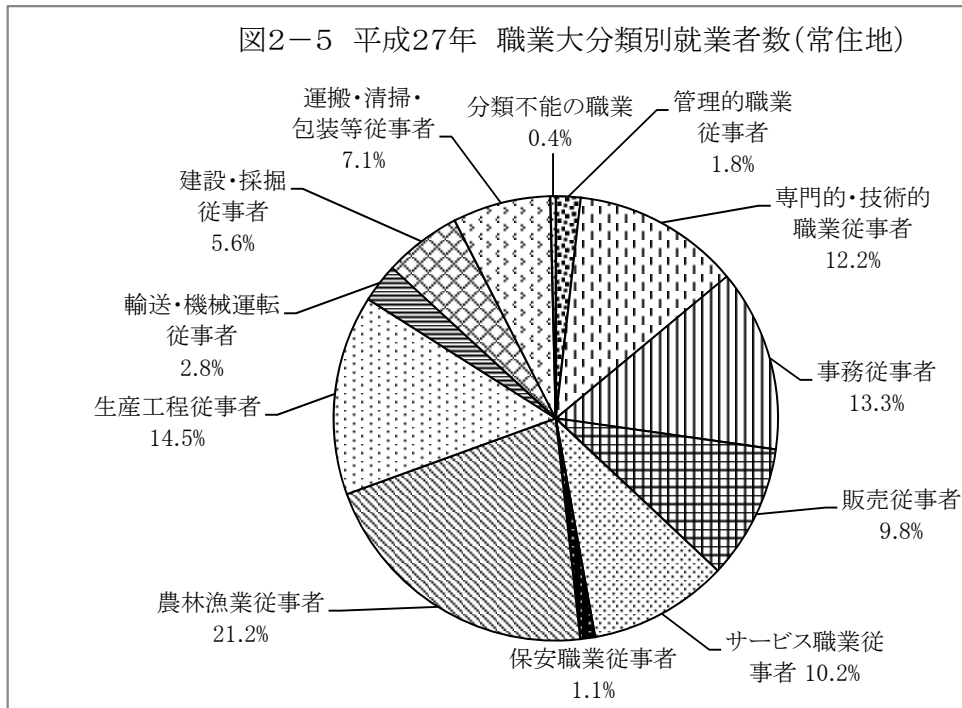


表2-3 職業大分類別常驻地・従業員別就業者数

職業大分類	平成7年			平成12年			平成17年			平成22年			平成27年					
	常驻地による		従業員による 構成比	常驻地による		従業員による 構成比	常驻地による		従業員による 構成比	常驻地による		従業員による 構成比	常驻地による		従業員による 構成比			
	就業者数	構成比		就業者数	構成比		就業者数	構成比		就業者数	構成比		就業者数	構成比		就業者数	構成比	
専門的・技術的 A.職業従事者	2,727	9.7	2,716	9.8	2,745	10.1	2,742	10.3	2,734	10.3	474	1.9	483	1.9	445	1.8	459	1.9
B.管理的職業従事者	788	2.7	759	2.7	506	1.9	426	1.6	446	1.7	2,755	10.9	2,751	11.0	2,995	12.2	2,971	12.2
C.事務従事者	3,660	13.0	3,402	12.3	3,437	12.6	3,478	13.0	3,354	12.7	3,110	12.3	2,908	11.6	3,265	13.3	3,044	12.5
D.販売従事者	2,671	9.5	2,522	9.1	2,795	10.0	2,684	10.1	2,666	10.1	2,442	9.7	2,468	9.9	2,406	9.8	2,398	9.9
E.サービス職業 従事者	1,424	5.1	1,234	4.5	1,868	6.7	2,081	7.8	1,810	6.8	2,340	9.3	2,054	8.2	2,501	10.2	2,196	9.0
F.保安職業従事者	182	0.6	181	0.7	258	0.9	269	1.0	260	1.0	279	1.1	266	1.1	262	1.1	268	1.1
G.農林漁業従事者	7,645	27.3	7,719	27.9	6,885	25.3	6,397	24.0	6,539	24.7	5,450	21.6	5,641	22.5	5,229	21.2	5,517	22.7
H.運輸・通信従事者	780	2.8	598	2.2	711	2.6	668	2.5	427	1.6	3,794	15.0	4,144	16.6	3,578	14.5	3,803	15.7
I.生産工程・ 労務作業	8,187	29.2	8,516	30.8	8,378	30.1	7,790	29.2	8,085	30.5	774	3.1	541	2.2	700	2.8	546	2.2
J.分類不能の職業	10	0.0	12	0.0	28	0.1	152	0.6	158	0.6	515	2.0	510	2.0	97	0.4	125	0.5
合計	28,054	100.0	27,659	100.0	27,827	100.0	26,687	100.0	26,479	100.0	25,256	100.0	25,016	100.0	24,618	100.0	24,291	100.0

注：構成比は、小数点第1位で四捨五入したため、合計と内容の計が一致しない場合もある。

・平成7年の職業大分類I生産工程・労務作業者には、採鉱・採石、技能工、採掘作業者を含む。

資料：国勢調査(各年10月1日)

C0202-1 事業所数・従業者数・売上金額

平成28年の事業所数は2,058事業所であり、そのうち卸売業・小売業は567事業所で全事業所数の27.6%を占め、次いで建設業が249事業所で12.1%、製造業が213事業所で10.4%の順となっている。従業者数は18,204人であり、製造業が最も多く4,711人、次いで卸売業、小売業(3,947人)、医療、福祉(2,471人)、建設業(1,125人)、宿泊業、飲食サービス業(1,078人)の順となっている。従業者規模別では従業者数1～4人以下の小規模企業が全体の61.8%(民間)を占めている。

図2-7 事業所数及び従業者数の推移

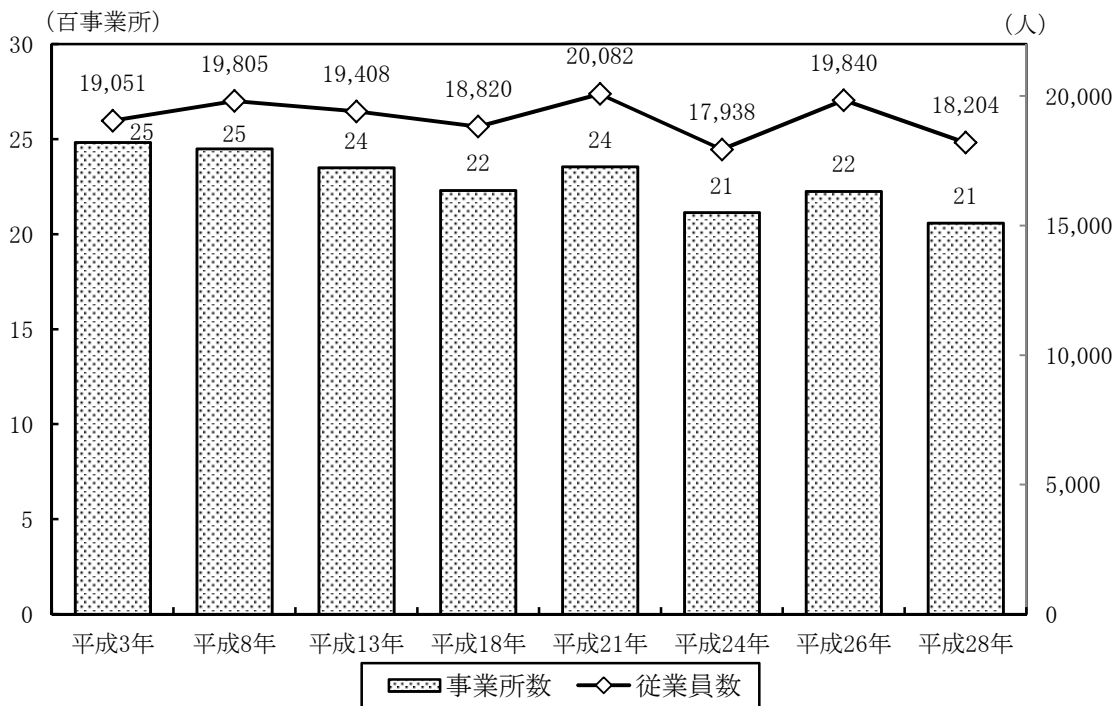


図2-8 事業所数の規模別構成比(民間)

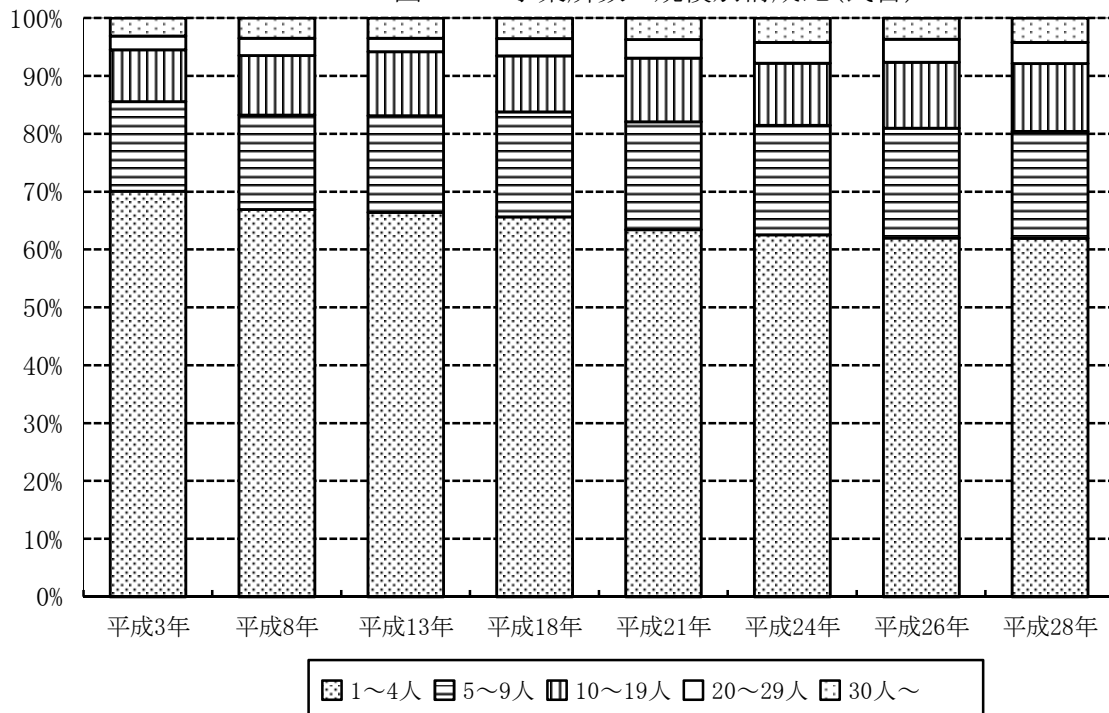


表2-4-1 産業大分類別事業所数・従業者数

産業大分類	平成3年						平成8年						平成13年												
	事業所数		従業者規模別事業所数(民営)		国・地方公共団体		事業所数		従業者規模別事業所数(民営)		国・地方公共団体		事業所数		従業者規模別事業所数(民営)		派遣者のみ		国・地方公共団体						
	1~4	5~9	10~19	20~29	30~	-	1~4	5~9	10~19	20~29	30~	-	1~4	5~9	10~19	20~29	30~	-	1~4	5~9	10~19	20~29	30~	-	
A.B.C.農林漁業	28	7	7	7	4	3	-	366	1	6	12	7	7	701	1	10	13	6	6	-	-	-	-	-	697
D.鉱業	3	2	1	-	-	-	-	10	1	1	-	1	28	3	2	-	1	-	-	-	-	-	-	-	16
E.建設業	393	264	73	44	2	10	-2,114	384	249	75	44	4	12	2,287	222	70	38	4	9	-	-	-	-	1,937	
F.製造業	283	140	48	46	19	30	-5,388	248	111	48	42	21	26	4,776	109	44	47	11	26	-	-	-	-	4,813	
G.電気・ガス・熱供給・水道業	7	-	-	-	1	1	5	7	-	1	-	-	1	96	-	1	1	-	1	-	-	-	-	6	119
H.運輸・通信業	50	23	4	5	3	6	9	49	21	7	5	3	5	602	24	11	6	1	2	-	-	-	-	8	410
I.卸売・小売業	1,040	795	160	59	12	12	2	1,021	742	167	78	15	17	5,284	682	171	81	16	20	-	-	-	-	2	5,370
J.金融・保険業	39	14	7	10	5	3	-	38	15	6	11	4	2	404	33	4	11	4	2	-	-	-	-	-	352
K.不動産業	37	34	2	-	-	-	1	40	37	2	-	-	-	83	41	38	2	-	-	-	-	-	-	1	78
L.サービス業	572	379	64	41	11	8	69	595	383	68	47	15	11	4,806	385	59	47	10	11	2	2	2	79	4,973	
M.公務	31	-	-	-	-	-	31	32	-	-	-	-	-	738	-	-	-	-	-	-	-	-	-	31	643
N.分類不能の産業	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
合計	2,483	1,658	366	212	57	73	117	2,450	1,560	381	239	70	81	19,805	1,475	372	245	52	77	2	2	2	127	19,408	

注1:平成8年までは、事業所数に派遣・下請従業者のみも含む。

資料:事業所・企業統計調査(各年10月1日)

表2-4-2 産業大分類別事業所数・従業者数

産業大分類	平成18年											平成21年										
	事業所数	従業者規模別事業所数(民営)						国・地方 公共 体	従業者 数	派遣従業者のみ	従業者規模別事業所数(民営)						国・地方 公共 体	従業者 数	派遣従業者のみ			
		1～4	5～9	10～19	20～29	30～					1～4	5～9	10～19	20～29	30～							
A～B農林水産業	39	8	7	9	5	9	-	1	698	-	18	23	24	11	5	-	1	1,155				
C. 採石業、採砂業	3	2	1	-	-	-	-	-	13	-	2	-	1	-	-	-	-	14				
D. 建設業	309	216	56	26	8	3	-	-	1,492	-	224	64	30	7	3	1	-	1,585				
E. 製造業	211	96	44	33	14	24	-	-	4,450	-	106	41	34	15	25	-	1	4,363				
F. 電気・ガス・熱供給・水道業	3	-	-	-	-	-	-	3	32	-	-	-	-	-	-	-	4	41				
G. 情報通信業	9	3	4	1	-	-	-	1	45	-	3	2	3	-	-	-	1	58				
H. 運輸業、郵便業	24	4	8	7	3	1	-	1	274	-	8	8	7	2	3	-	1	343				
I. 卸売業、小売業	653	426	134	65	10	17	1	-	4,391	1	408	130	62	13	22	3	-	4,534				
J. 金融業、保険業	33	13	5	9	5	1	-	-	334	-	15	3	9	4	3	-	-	373				
K. 不動産業、物品賃貸業	70	63	5	1	-	-	-	1	152	-	87	8	2	-	-	-	1	238				
L. 学術研究、専門・技術サービス業	71	59	6	3	2	-	-	1	226	-	54	11	1	1	1	-	4	329				
M. 宿泊業、飲食サービス業	236	165	46	12	7	3	-	3	1,153	-	145	48	26	5	2	-	3	1,192				
N. 生活関連サービス業、娯楽業	187	148	13	12	5	3	-	6	774	-	151	13	11	4	4	1	7	853				
O. 教育、学習支援業	72	33	3	1	1	2	-	32	801	-	38	8	3	-	2	-	31	877				
P. 医療、福祉	106	31	26	10	1	5	-	33	2,131	-	38	33	19	4	5	-	34	2,361				
Q. 複合サービス事業	30	12	12	3	1	2	-	-	403	-	10	7	4	2	1	-	-	308				
R. (他に分類されないもの)	144	105	12	12	2	4	-	9	730	-	105	16	9	4	6	1	7	864				
S. (他に分類されるものを除く)	30	-	-	-	-	-	-	30	721	-	-	-	-	-	-	-	28	594				
合計	2,230	1,384	382	204	64	74	1	121	18,820	1	1,412	415	245	72	82	6	123	20,082				

資料：平成18年は事業所・企業統計調査(10月1日)
平成21年は経済センサス-基礎調査(7月1日)

表2-4-3 産業大分類別事業所数・従業者数・売上金額

産業大分類	平成24年						平成26年						平成28年															
	従業者規模別事業所数(民営)			国・地方公共団体	従業者数	売上金額	従業者規模別事業所数(民営)			国・地方公共団体	従業者数	売上金額	従業者規模別事業所数(民営)			国・地方公共団体	従業者数	売上金額										
	事業所数	1～4	5～9				10～19	20～29	30～				派遣従業者のみ	1～4	5～9				10～19	20～29	30～	派遣従業者のみ						
A～B農林水産業	93	18	27	26	11	11	-	1,466	15,725	99	19	33	31	10	5	-	1,404	16,591	95	17	25	37	10	6	-	1,388	21,389	
C. 鉱業，採石業，砂利採取業	3	-	1	1	1	-	-	40	538	3	1	-	1	1	-	-	37	658	2	1	-	1	-	-	-	13	×	
D. 建設業	284	201	52	26	4	1	-	1,273	...	265	184	52	24	4	1	-	1,159	24,075	249	175	46	24	3	1	-	1,125	...	
E. 製造業	209	98	40	29	16	26	-	4,380	86,007	219	105	41	31	13	28	-	1,490	91,414	213	101	37	32	14	29	-	4,711	102,711	
F. 電気・ガス・熱供給・水道業	1	-	1	-	-	-	-	8	...	5	-	1	-	-	-	-	4	34	...	0	-	-	-	-	-	-	-	...
G. 情報通信業	5	2	1	2	-	-	-	36	...	4	2	-	1	-	-	-	1	20	198	4	2	-	1	-	1	-	150	...
H. 運輸業，郵便業	26	7	9	7	1	2	-	297	...	30	8	5	12	3	2	-	363	3,573	34	10	7	13	2	2	-	415	...	
I. 卸売業，小売業	579	360	123	58	18	19	1	4,162	86,179	578	360	116	60	25	17	-	4,171	79,510	567	354	115	59	16	21	2	3,947	87,900	
J. 金融業，保険業	42	16	8	11	3	4	-	514	...	31	14	6	7	2	2	-	284	11,005	29	11	6	7	3	1	1	283	...	
K. 不動産業，物品賃貸業	91	82	8	1	-	-	-	210	1,869	95	79	13	2	-	-	-	1	253	1,908	86	73	10	3	-	-	239	2,453	
L. 学術研究，専門・技術サービス業	65	58	5	1	1	-	-	175	1,246	71	57	7	1	1	-	-	5	289	822	64	54	8	1	-	-	189	1,329	
M. 宿泊業，飲食サービス業	228	145	52	22	5	4	-	1,238	3,793	223	153	35	22	7	3	-	3	1,232	4,342	204	138	38	20	6	2	1,078	4,637	
N. 生活関連サービス業，娯楽業	176	144	13	10	5	3	1	708	4,859	176	142	14	9	9	-	-	2	687	11,705	172	139	16	8	5	4	732	16,933	
O. 教育，学習支援業	47	37	4	3	-	3	-	264	...	76	33	4	7	3	-	-	29	874	838	50	36	5	3	4	2	-	324	...
P. 医療，福祉	106	38	35	20	6	7	-	2,042	17,426	159	44	45	24	3	10	-	33	2,729	19,314	130	49	42	25	7	7	2,471	18,892	
Q. 複合サービス事業	14	10	2	1	1	-	-	84	...	25	10	9	1	2	3	-	-	367	4,072	19	9	4	-	3	3	-	331	...
R. サービス業（他に分類されないもの）	145	105	18	9	3	9	1	1,041	...	146	104	21	8	2	6	1	4	858	6,456	140	103	20	7	2	6	2	808	...
S. 公務（他に分類されるものを除く）	/	/	/	/	/	/	/	/	/	21	-	-	-	-	-	-	21	589	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/
合計	2,114	1,321	399	227	75	89	3	17,938	217,642	2,226	1,315	402	241	85	77	1	105	19,840	276,481	2,058	1,272	379	241	75	86	5	18,204	256,244

注）事業所に関する集計における売上（収入）金額は、事業所単位の把握ができない一部の産業（ネットワーク型産業）※については「…」で表しています。
 ※「建設業」、「電気・ガス・熱供給・水道業」、「通信業」、「放送業」、「映像・音声・文字情報制作業」、「運輸業、郵便業」、「金融業、保険業」、「学校教育」、「郵便局」、「政治・経済・文化団体」及び「宗教」
 ・×は秘密保持のための伏せ字
 資料：平成24年は経済センサス-活動調査（7月1日）
 平成26年は経済センサス-基礎調査（7月1日）
 平成28年は経済センサス-活動調査（6月1日）

C0202-2 産業中分類別工業出荷額

平成28年の工業出荷額(実質)は、約1,111億円であり、出荷額からみた主要業種は電子部品・デバイス・電子回路などである。

工業出荷額(実質)の推移をみると、平成2年以降数年周期で増減を繰り返し平成21年は、リーマンショックの影響から急減して723億円となったが、平成22年以降増加傾向であり、出荷額からみた主要業種は電子部品・デバイス・電子回路などである。

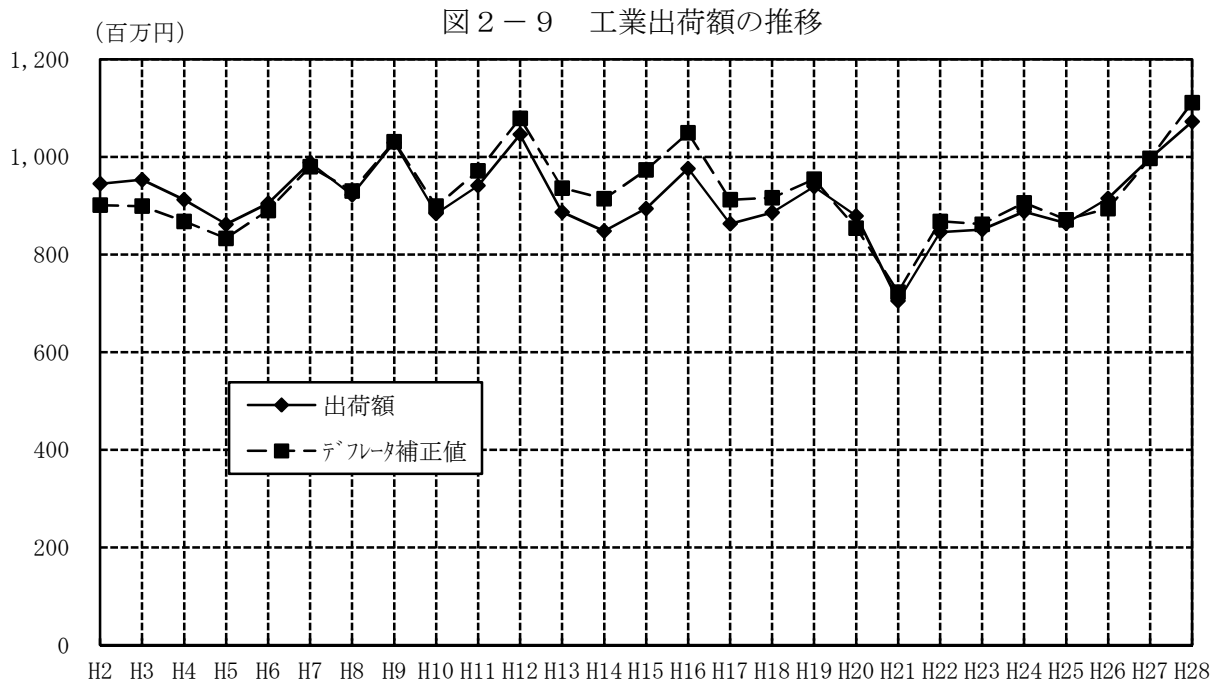


表2-5 工業出荷額(平成28年)

単位:百万円

項目	出荷額 (デフレータ補正值)	%
食料品	13,887	12.5
飲料・たばこ・飼料	1,183	1.1
繊維	χ	χ
木材・木製品(家具を除く)	χ	χ
家具・装備品	151	0.1
パルプ・紙・紙加工品	889	0.8
印刷・同関連	569	0.5
化学	-	-
石油製品・石炭製品	χ	χ
プラスチック製品(別掲を除く)	-	-
ゴム製品	-	-
なめし革・同製品・毛皮	-	-
窯業・土石製品	981	0.9
鉄鋼	-	-
非鉄金属	-	-
金属製品	2,528	2.3
はん用機械器具	128	0.1
生産用機械器具	2,658	2.4
業務用機械器具	13,649	12.3
電子部品・デバイス・電子回路	54,387	49.0
電気機械器具	χ	χ
情報通信機械器具	χ	χ
輸送用機械器具	χ	χ
その他	12,795	11.5
合計	111,058	100.0

注:デフレータ補正值は、平成27年を100とした国内卸売物価指数で補正した数値

χは秘密保持のための伏せ字

資料:工業統計調査

表2-6 工業出荷額の推移

(単位:百万円)

	旧中野市		旧豊田村		中野市(旧市村合算)	
	出荷額	デフレータ補正值	出荷額	デフレータ補正值	出荷額	デフレータ補正值
平成2年	92,972	88,629	1,522	1,451	94,494	90,080
平成3年	93,757	88,450	1,584	1,494	95,341	89,944
平成4年	89,300	85,048	1,866	1,777	91,166	86,825
平成5年	84,121	81,355	2,056	1,988	86,177	83,343
平成6年	88,607	87,126	1,939	1,907	90,546	89,032
平成7年	96,791	96,023	1,995	1,979	98,786	98,002
平成8年	91,013	91,747	1,203	1,213	92,216	92,960
平成9年	101,044	101,246	1,848	1,852	102,892	103,098
平成10年	86,726	88,226	1,679	1,708	88,405	89,934
平成11年	92,420	95,377	1,689	1,743	94,109	97,120
平成12年	102,818	106,107	1,760	1,816	104,578	107,924
平成13年	86,958	91,825	1,712	1,808	88,670	93,633
平成14年	83,455	89,930	1,393	1,501	84,848	91,431
平成15年	87,909	95,657	1,488	1,619	89,397	97,276
平成16年	95,194	102,249	2,451	2,633	97,645	104,882
平成17年					86,317	91,244
平成18年					88,617	91,641
平成19年					93,918	95,445
平成20年					87,920	85,442
平成21年					70,468	72,275
平成22年					84,583	86,841
平成23年					85,132	86,166
平成24年					88,790	90,602
平成25年					86,430	87,127
平成26年					91,499	89,354
平成27年					99,735	99,735
平成28年					107,171	111,058

注:デフレータ補正值は、平成27年を100とした国内卸売物価指数で補正した数値

資料:工業統計調査、経済センサス-活動調査(各年12月31日)

■ 工業出荷額の推計(実質出荷額)

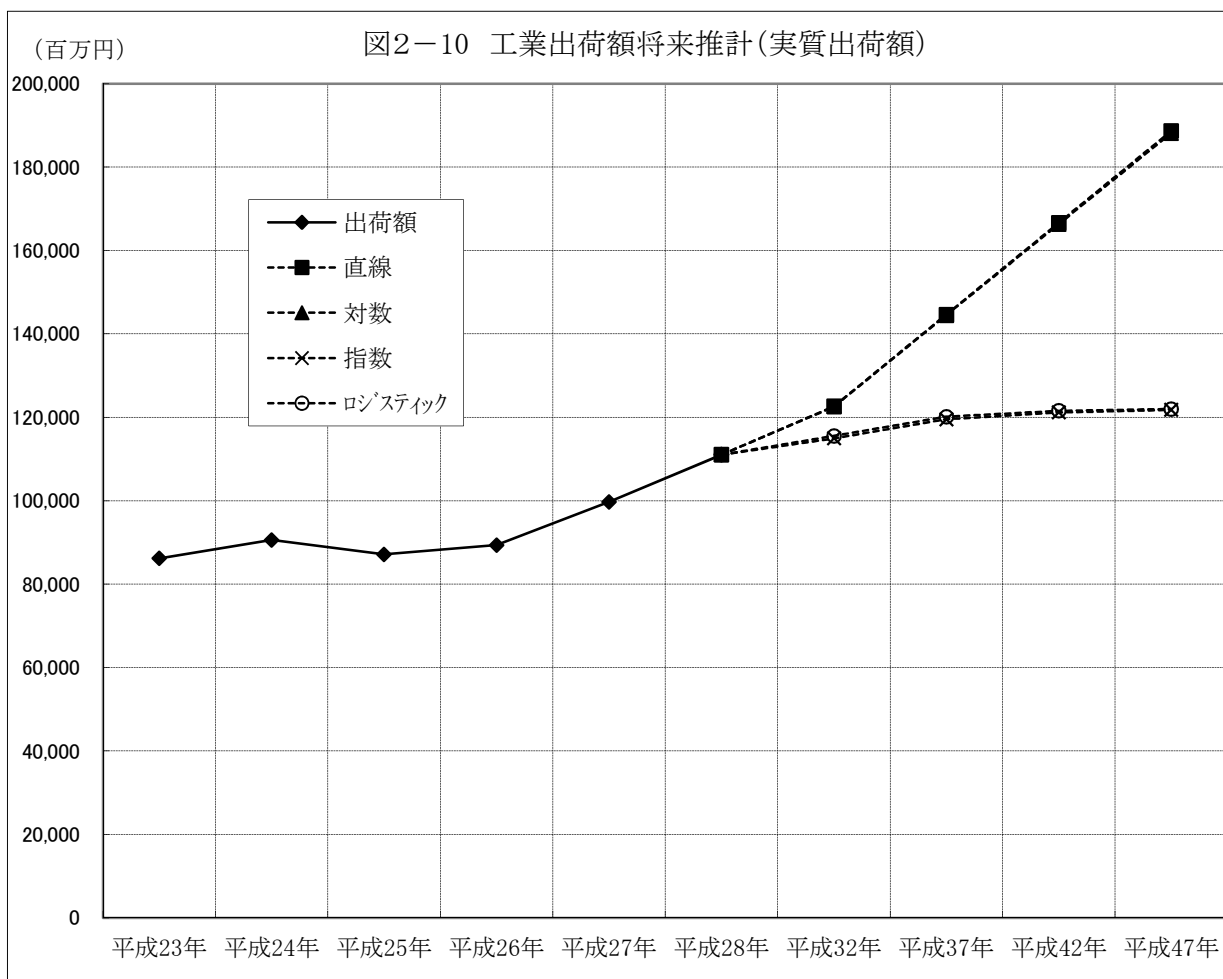
平成23年から平成28年までの工業出荷額を基に行った推計結果は、平成28年の工業出荷額1,111億円が平成47年には1,218億円から1,887億円の幅で推計され、そのうち決定係数の一番高い回帰式によると1,887億円と推測される。

表2-7 工業出荷額将来推計

(単位:百万円)

推計方法	平成28年	平成32年	平成37年	平成42年	平成47年
直線: $y=ax+b$	(実質値) 111,058	122,623	144,635	166,648	188,660
対数: $y=a\log x+b$		122,575	144,485	166,341	188,143
指数: $y=K-ab^x$		114,977	119,509	121,183	121,801
ロジスティック: $y=k/(1+a\exp^{-bx})$		115,552	120,138	121,560	121,985
推 計 式					
直 線	$y=4402.45714285714x+-8770340.45714286$				決定係数=0.72847
対 数	$y=8862631.30380717\log x+-67329607.6506006$				決定係数=0.72818
指 数	$y=122163.8-3.7177555838955E+178*0.819422793677281^x$				決定係数=0.67291
ロジスティック	$y=122163.8/(1+1.3498060484732E+213\exp^{-0.244362094486587x})$				決定係数=0.68724

注:平成23年～平成28年のデフレータ補正值データにより推計



C0202-3 産業中分類別商業販売額

平成28年の商業販売額(実質(デフレータ補正值))は773億円で、そのうち卸売業が32.9%、小売業が67.0%の構成比となっている。卸売業・小売業ともに平成19年にかけて増減を繰り返しながら減少し、平成24年に大幅に落ち込みその後はほぼ横這いであるが、前回調査より卸売業は増加したが小売業は減少している。

図2-11 業種別販売額の推移(デフレータ補正值)

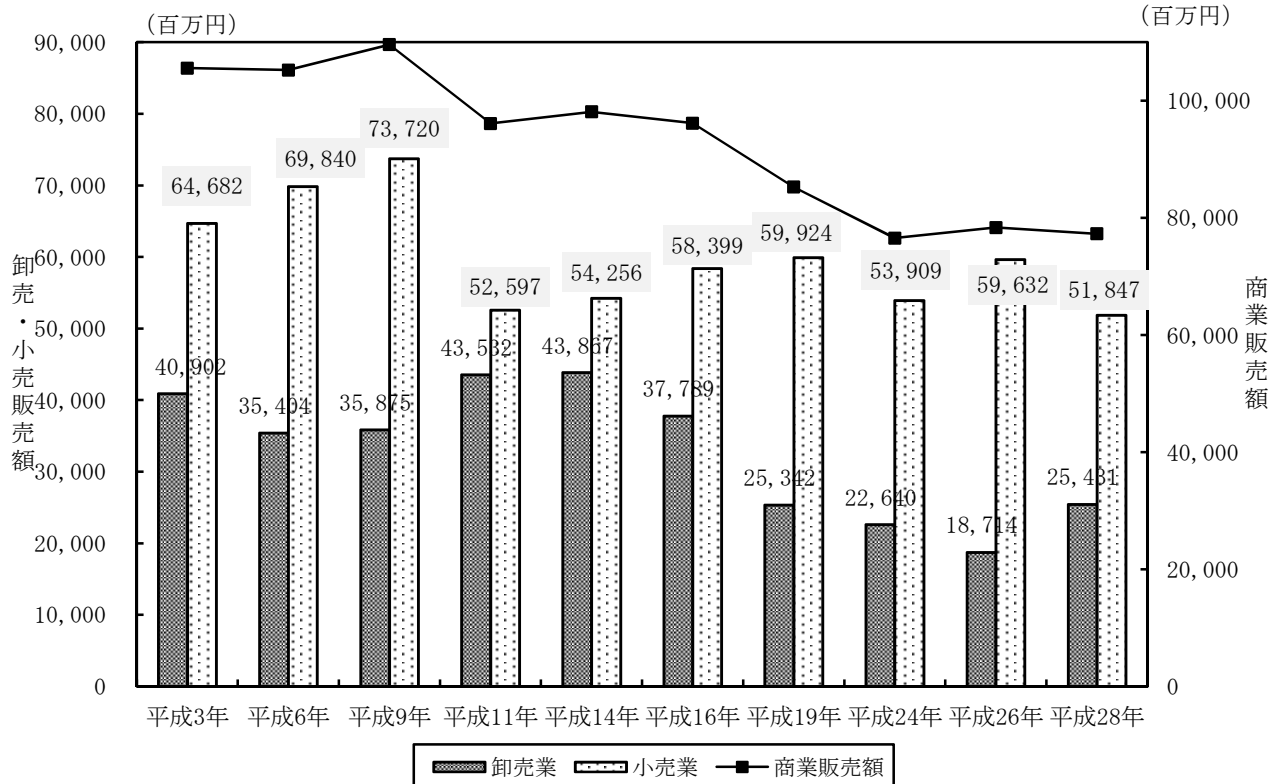


表2-8 商業販売額(平成28年)

単位:百万円

項目	販売額 (デフレータ補正值)	%
各種商品卸売業	-	-
繊維・衣服等卸売業	×	×
飲食料品卸売業	15,946	20.6
建築材料、鉱物・金属材料等卸売業	4,156	5.4
機械器具卸売業	5,021	6.5
その他の卸売業	×	×
卸売業計	25,431	32.9
各種商品小売業	×	×
繊維・衣服・身の回品小売り業	2,972	3.8
飲食料品小売業	12,095	15.7
機械器具小売業	11,674	15.1
その他的小売業	×	×
無店舗小売業	1,707	2.2
小売業計	51,847	67.1
合計	77,279	100.0

注:デフレータ補正值は、平成27年を100とした全国(総合)消費者物価指数で補正した数値

×は秘密保持のための伏せ字

資料:・商業統計調査(各年6月1日、平成26年は7月1日)

・経済センサス-活動調査(平成24年2月1日、平成28年6月1日)

表2-9-1 商業販売額の推移(卸売+小売)

(単位:百万円)

	旧中野市		旧豊田村		中野市(旧市村合算)	
	販売額	デフレータ補正值	販売額	デフレータ補正值	販売額	デフレータ補正值
平成3年	97,636	103,538	1,930	2,047	99,566	105,584
平成6年	99,964	102,317	2,858	2,925	102,822	105,243
平成9年	105,370	105,899	3,677	3,695	109,047	109,595
平成11年	91,859	92,043	4,077	4,085	95,936	96,128
平成14年	93,116	95,504	2,554	2,619	95,670	98,123
平成16年	91,256	93,885	2,238	2,302	93,494	96,187
平成19年					82,878	85,265
平成24年					73,640	76,549
平成26年					77,719	78,346
平成28年					77,202	77,279

表2-9-2 商業販売額の推移(卸売)

(単位:百万円)

	旧中野市		旧豊田村		中野市(旧市村合算)	
	販売額	デフレータ補正值	販売額	デフレータ補正值	販売額	デフレータ補正值
平成3年	38,482	39,428	89	91	38,571	40,902
平成6年	34,468	34,059	122	121	34,590	35,404
平成9年	34,533	33,495	1,163	1,128	35,696	35,875
平成11年	41,714	40,342	1,731	1,674	43,445	43,532
平成14年	42,216	41,798	554	549	42,770	43,867
平成16年	36,379	36,126	352	350	36,731	37,789
平成19年					24,632	25,342
平成24年					21,780	22,640
平成26年					18,564	18,714
平成28年					25,406	25,431

表2-9-3 商業販売額の推移(小売)

(単位:百万円)

	旧中野市		旧豊田村		中野市(旧市村合算)	
	販売額	デフレータ補正值	販売額	デフレータ補正值	販売額	デフレータ補正值
平成3年	59,154	60,609	1,841	1,886	60,995	64,682
平成6年	65,497	64,720	2,737	2,705	68,234	69,840
平成9年	70,837	68,707	2,514	2,438	73,351	73,720
平成11年	50,145	48,496	2,347	2,270	52,492	52,597
平成14年	50,900	50,396	2,000	1,980	52,900	54,256
平成16年	54,877	54,496	1,887	1,874	56,764	58,399
平成19年					58,246	59,924
平成24年					51,860	53,909
平成26年					59,155	59,632
平成28年					51,795	51,847

注:デフレータ補正值は、平成27年を100とした全国(総合)消費者物価指数で補正した数値

注:販売額は百万円単位で四捨五入しているため 旧市村の計が合算値と一致しないことがある

資料:商業統計調査(各年6月1日、平成26年は7月1日)
経済センサス-活動調査(平成24年2月1日、平成28年6月1日)

■ 商業販売額の推計(実質販売額)

平成19年から平成28年までの商業販売額(実質)を基に行った将来推計の結果は、卸売業は、平成28年の商業販売額254億円が平成47年には168億円から177億円の幅で推計され、そのうち決定係数の高い式によると177億円と推測される。

小売業は、平成28年の商業販売額(実質)518億円が平成47年には523億円から602億円の幅で推計され、そのうち決定係数の高い式によると523億円と推測される。

表2-10 商業販売額将来推計(卸売業)

(単位:百万円)

推計方法	平成28年 (実質値)	平成32年	平成37年	平成42年	平成47年
直線	25,431	21,198	20,015	18,831	17,648
対数		21,199	20,020	18,845	17,672
指数		22,053	20,656	18,929	16,795
ロジスティック		21,822	20,448	18,896	17,192

推計方法	推計式	
直線	$y = -1468.32020725389x + 2979063.84974093$	決定係数= 0.0838
対数	$y = -2951171.54399497\log x + 22474016.3806295$	決定係数= 0.0841
指数	$y = 48253.7 - 5.47169530865151E-91 * 1.11434677284371^x$	決定係数= 0.0698
ロジスティック	$y = 48253.7 / (1 + 1.6144302791539E-137 \exp^{-0.156502306254819x})$	決定係数= 0.0731

表2-11 商業販売額将来推計(小売業)

(単位:百万円)

推計方法	平成28年 (実質値)	平成32年	平成37年	平成42年	平成47年
直線	51,847	54,634	53,852	53,070	52,289
対数		58,572	59,122	59,671	60,218
指数		55,473	54,772	54,024	53,226
ロジスティック		55,316	54,590	53,825	53,020

推計方法	推計式	
直線	$y = -156.353367875648x + 370467.808290155$	決定係数= 0.0674
対数	$y = 222450.87537289\log x - 1634468.6986194$	決定係数= 0.0671
指数	$y = 65916.4 - 4.19876808020895E-08 * 1.0130746462778^x$	決定係数= 0.0401
ロジスティック	$y = 65916.4 / (1 + 2.17531307302858E-15 \exp^{-0.0158957489039736x})$	決定係数= 0.0443

注:平成19・24・26・28年のデータにより推計

図2-12 商業販売額将来推計(実質販売額)

